

令和4年度 北海道社会教育主事会協議会研究テーマに係る実践報告書

日高管内	日高管内社会教育主事会
<p>●実践の概要</p> <p>日高管内青少年体験活動推進事業「ひだか未来塾」 対象：日高管内の中学校・高校に在籍する者 35人程度 内容：生徒向けの講演会・ワークショップ等の研修事業 目的：中学生・高校生が他町の参加者との交流、地域課題の解決に向けた協議等をおし て、地域の良さを客観的に見つめる視野や、ボランティア活動等の地域活動に主体的 的に参画する意欲・態度を身に付けることを目的とする。 共催：日高管内社会教育職員研究協議会・日高管内社会教育主事会 おもな連携・協働内容：学校に対する生徒の参加要請、地域住民に対する講師等の要請。</p>	
<p>●実践に至るまでの経緯・準備したこと</p> <p>本事業は、道教委で実施していた「ジュニアリーダー」事業が終了したことから、管 内2団体の共催事業として、令和元年度から実施している。同協議会社会教育指導部会 研修会を兼ね実施し、実施費用は研修会予算から支出している。</p> <p>【準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内で役割分担（日高管内3ブロック〔西部・中部・東部〕の持ち回り）し、開催担当 ブロックを中心に、管内全町の職員が関わり事業運営にあたる。 	
<p>●実践で難しいと思ったこと・困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業開始から数年たち、管内事業として定着しつつある。 生徒の興味関心は様々であるので、限られた時間（実質半日程度）で、何を、どこまで を研修の目標設定とするか、十分な打ち合わせ、プログラム設定が必要である。 学校教員の参加は求めているが、参観してくれると有意義だと思う。 	
<p>●改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> 「防災」「SDGs」といった大きなテーマを、参加者それぞれに、自分のこととしてと らえ、地域での行動につなげられるようなプログラムとなるよう、関係職員による検討 を継続していきたい。 	
<p>●実践での行政職員の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業運営全般 	<p>●実践後の対象の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> 「他校、他町の生徒と関わり、交流するのは楽しい。もっとやりたい。」という参加 生徒の感想がある。 管内各町職員による事業として継続実施し、職員間の連携が深まる。
<p>●実践から導き出された社会教育行政職員の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果を広く周知し、活動に対する理解・関心を高める。 管内各町職員による事業として継続実施し、職員間の連携が深まる。 	